



鈴鹿市立加佐登小学校 学校運営協議会だより

第3号

令和7年11月4日発行
学校運営協議会事務局

第3回 学校運営協議会【10月28日(火)開催】(報告)

場所 加佐登小学校 児童会室

時間 13:30～14:40

参加者 委員長、副委員長、委員5名、学校長、教頭

概要 あいさつ、授業参観、参観後の意見交換、全国学力学習状況調査の結果について等

◇あいさつ（委員長、学校長）

委員長より「最近寒くなってきたが、子どもたちの体調はいかがだろうか。日の入りが早くなり、中学生も含め薄暗い中での下校となるので気をつけて見守っていただきたい。また、来月はさらに日の入りが早くなるので、より意識していただけるとありがたい。」とあいさつしていただきました。

学校長からは「本日も前回と同様に授業を参観していただく予定です。また、参観後は、全国学力・学習状況調査の結果と、本校の取り組みについて説明させていただきますので、そのことも踏まえて授業を参観していただけるとありがたいです。子どもたちの様子を見て主体的に学ぶことができているか、ICTを有効に活用できているかといったことに加えて、学校環境も見えていただきながら、忌憚のないご意見を頂戴したい。」とお伝えしました。

◇授業参観後の意見交換（主なもの）

（1）感想、ご意見等

○学校環境（掲示物等）について

- 全体的な印象として、ロッカーの乱れもなくきちんと整理されている。
- 教室前の掲示物が定期的に張り替えられてあり、子どもたちにとってもいい刺激になっているのではないか。
- 校舎内の2箇所に、屋上へ登るためのハシゴがあるが、子どもが無断で登らないようにするための対策を検討してみてはいかがだろうか。
- 児童会新聞「ファンファンきっず」の取り組みや、校内でのいじめ防止標語の取り組みなど、とてもよい活動をされていると感じた。
- 上靴のかかとを踏んでいる子が多いのではないかと感じる。授業中に靴を脱いでしまい、踏んだまま、歩いている子もいる。クセもあるように感じるが、引き続き地道な指導を継続していただければと思う。
- 低学年等の児童にとっては、ランドセルがすごく重いのではないかと感じている。持ち帰りの荷物をどの程度までにするか等の視点で工夫してみてはどうだろうか。

- ・掃除は日本の誇れる文化なので、これからも指導を継続していただければと思う。
- ・雑巾の整頓までとてもきれいにできている学級もあった。
- ・掃除の様子を拝見したが、子どもたちはまじめに一生懸命取り組んでいた。先生たちも共に掃除に取り組んでいることで、いい効果を表しているのではないかと感じた。普段の継続的な取り組みによって、校舎のきれいな姿が維持されているのではないかと感じた。

○授業の様子等について

- ・5年生の子どもたちが、静かに集中して授業を受けることができていると思った。
- ・授業の様子も各学年、順繰りに参観させていただいた。低学年をはじめ、どの学年も落ち着いて、集中しながら学習に取り組んでいると感じた。
- ・6年生は班でまとまって活発に話し合いをする活動をしていたが、自分が発言できる場を保障することの大切さを改めて感じる事ができた。
- ・4年生の社会見学新聞は、パソコンを使って写真等も取り入れながらきれいにまとめることができていると感じた。また、自分の言葉で見出しをつけるなどレイアウトもよく工夫されていた。
- ・子ども達がパソコンを使って作成した掲示物を拝見して、とても上手に作られていると感じると共に、今の時代の教育活動の一端を感じることができた。同時に、手書きで書くことも大事なので併用していってもらえるとさらに良い教育活動ができるのではないかと。



↑子どもたちがおすすめしたい本について紹介した掲示物

○読書活動について

- ・前に参観したときよりも、おすすめの本の紹介コーナーがあるなど、掲示による紹介などの図書室の整備がされており、読書活動に力を入れていることがわかった。
- ・貸出冊数について競うことを意識させた図書室の掲示物も、子どもたちの意欲を喚起する手立てとして良い取り組みではないかと。

(2) 小学校より

- ・本校では、職員も全員で掃除をするという取り組みを数年前から継続している。浸透した取り組みであり、それによる効果も認められるので、今後も継続していきたい。
- ・はしごの件については、現状を精査したうえで、対応を協議していきたい。
- ・図書掲示物については、図書ボランティアさんの取り組みによるものもある。学校としても大変助けていただいております感謝している。
- ・教員の人事異動もあるので、教員同士の学び合いも大事にしながら、落ち着いた学校づくりに今後も努めていきたい。
- ・上靴のかかとの件については、子どもたちの意識付けが高まるように、今後行動目標にしていきたい。
- ・いじめ防止標語については、児童会が中心となって取り組みを進めており、日常的にも朝の時間帯に呼びかけを行っている。また、一部の児童ではあるが廊下歩行について気になる姿が見られるので、児童会が主体となった取り組みができないか検討していきたいと考えている。
- ・現在、子どもたちがトイレのスリッパを整頓する意識を高めるために、職員室前のボードに頑張張り表を掲示している。子どもたちの習慣化につながるように善処していきたい。



◇令和7年度全国学力・学習状況調査の結果等について

Q 今後の取組に夏休みの研修会について記載されているが毎年行っているのか？

A 毎年行っている。全国学力・学習状況調査には、国の教育施策や今後の方向性が反映されているため、授業づくりの参考にもなるので全職員で研修を進めています。

Q 6年生の（学力学習状況）調査結果を見て、1年生など他の学年の授業方法についても検討しているということか？

A そのとおりです。6年生で身につけさせたい学力について、つながりがあるため、各学年で今後どのような力をつけていけばよいか研修を積み重ねています。

Q 外国から来ている児童はどれぐらいか？

A 外国にルーツのある児童は6名。そのうち特別な日本語指導を受けている児童は2名在籍しており、週3日間、日本語指導の先生に個別指導をしていただいています。

外国にルーツのある児童の割合は、鈴鹿市内の他校と比較すると比較的少ない方です。